

オープンアクセス¹

星空案内人資格認定制度ニュースレター No.67

発行：特定非営利活動法人星のソムリエ機構

発行日：2025年1月31日

目次

星のソムリエシンポジウム参加申し込みの受付開始！.....	1
星のソムリエシンポジウム 特別企画「星空案内人養成講座開いてみて・受講してみて『あるある』～相談から解決へ～」開催のお知らせと課題・問題点、疑問の募集.....	2
シンポジウムイベント「天文科学講演会」@ディスカバリーパーク焼津天文科学館.....	2
1月の機構の活動.....	3
(第20回)星のソムリエ何でも情報交換会(1月).....	3
1月定例理事会の開催.....	4
投稿記事.....	4
星空案内人が他業種とどう連携するか～奥三河での取り組みから～.....	4
お願い(投稿募集).....	5

星のソムリエシンポジウム参加申し込みの受付開始！

2025年3月2日(日曜)～3日(月曜) ディスカバリーパーク焼津天文科学館で開催される第17回星空案内人(星のソムリエ[®])シンポジウムのプログラムや盛りだくさんの企画がホームページに公開され、同時に参加申し込みの受付が始まりました。参加申し込みはシンポジウムホームページからお願いします。星空案内を楽しむ皆さんと交流しましょう。

日程： 2025年3月2日(日曜)、3日(月)

会場： ディスカバリーパーク焼津天文科学館

参加方法：現地およびオンラインのハイブリッド開催

〒425-0052 静岡県焼津市田尻 2968-1

¹ 本ニュースレターは、クリエイティブ・コモンズ CC BY の下に提供されています。引用の際は「星空案内人資格認定制度ニュースレター」とその番号、署名記事の場合は著者名を明記してください。



主催： 特定非営利活動法人 星のソムリエ機構

共催： ディスカバリーパーク焼津天文科学館

特別協賛： 株式会社ビクセン

協賛： 合同会社プラネタリウムワークス

展示ブース協賛： 株式会社サイトロンジャパン

展示ブース出展： 月猫の雑貨屋さん

(協賛は引き続き募集中です。)

シンポジウムホームページはこちらです：

<https://star-sommelier.org/symp17/>



星のソムリエシンポジウム 特別企画「星空案内人養成講座開いてみて・受講してみても『あるある』～相談から解決へ～」開催のお知らせと課題・問題点、疑問の募集

3月2日～3日に開催する「第17回星のソムリエシンポジウム」では「星空案内人養成講座開いてみて・受講してみても『あるある』～相談から解決へ～」を開催します。

開催日時は 2025年3月2日15:20ごろです。

現在、実施団体の皆さん、星空案内人養成講座を受講した皆さんから「これはどうしたらいいんだろう?」「こういうことって他の団体(人)はどうしているんだろう?」といった課題・問題点、疑問を募集しています。

募集締切 2月15日(土)です。

受付フォームは下記 URL です↓↓↓↓↓↓↓

<https://forms.gle/1eo9kMviSexSpvvi7>



星空案内人養成講座を開催してみても、受講してみても…の困ったことをみなさんの間で共有して解決の糸口を探れる機会としたいと考えています。みなさんの困りごと、悩み事、疑問点をどしどしお寄せください。

シンポジウムイベント「天文科学講演会」@ディスカバリーパーク焼津天文科学館

シンポジウム開催の前日3月1日(土)にディスカバリーパーク焼津天文科学館では「天文科学講演会」を開催します。焼津市出身の望遠鏡製作者、故・法月惣次郎さん没後30年とすばる望遠鏡25周年記念として、講師に元国立天文台長の林正彦先生をお招きし、ご講演いただきます。

シンポジウムにご参加の皆様にもぜひご聴講いただけたらと思ってお案内させていただきます。

★天文科学講演会

私たちは宇宙をどう理解してきたか

-すばる望遠鏡で巡る宇宙観の進化と天文学の最前線-

講師：元国立天文台長 林正彦先生

日時：3月1日（土）16:30～18:00

会場：ディスカバリーパーク焼津天文科学館

定員：165人（事前申込制）

観覧料：無料

申込方法：2月4日（火）13:00より専用フォームにて受付開始

※晴天時には講演会終了後、参加者を対象に特別観望会を実施します。

詳しくは

https://www.discoverypark.jp/event/detail/?dat_id=1673

1月の機構の活動

(第20回)星のソムリエ何でも情報交換会(1月)

日時 2025年1月5日(日曜) 14:00-15:15

場所 zoom 会議

今月のテーマは「星空案内人(星のソムリエ)講座を受けてみて、改善点、良かった点を出し合って今後の発展に活かそう！」でした。

参加：12名

情報提供：

題目 「星のソムリエ京都」の充実した講義内容と「飛鳥の宙」発足について

氏名 吉村 彩 「飛鳥の宙」制作 Team/活動場所：奈良県(明日香村・大和高田市)

題目 「星のソムリエ仙台ラボ講座二年目にできたこと・できないこと」

氏名 柴田 晋平 星のソムリエ機構/星のソムリエ仙台

参加の皆さんから近況など自由に情報交換する時間、相談・質問時間を設けました。

終了後いただいたお便りや情報は以下です。

★ 柴田先生の「仙台での講演会になかなか人が集まらないが何かいい方法はないか」という問いかけに対して

（田端）連携できる施設や、開催場所が決まっていれば、毎回そこで開催することで知れ渡っていくのではないかと。

（柴田）仙台はゼロから始める場合のテストケースになっていて、活動の場所は決まらずに毎回申し込んで開催している。連携できる施設も今のところ見つかってない。

（田端）地域に核となる人がいれば、その人を中心にグループを作って広げていくことができるの

ではないか。

(柴田) まだそういう人はいない。

1 月定例理事会の開催

開催日時：2025年1月14日 21:00-21:30

開催場所：法人事務所及びオンライン会場

出席：理事会メンバ10名中、出席8名、欠席：1名

- 各事業グループからの報告と情報交換
- 2025年3月開催予定の全国シンポジウムについて
- 今後の運営について
- 星のソムリエのための人工衛星ガイドの印刷が認められた
- 星空案内人資格認定制度ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスのもと星空案内に関心のある皆様のための雑誌(publication)であるとの位置付けにすることにし、報告や研究の記事も掲載する。

投稿記事

(12月の情報交換会での発表をまとめていただきました。)

星空案内人が他業種とどう連携するか～奥三河での取り組みから～

萩野 祐司 (奥三河☆星空の魅力伝える会)

愛知県奥三河で星空の取り組みが始まって、10年。現在、8施設・組織・事業所との連携で星空案内の取り組みを実施している。2017年には協力組織と共催で星空案内人養成講座を開始し、2024年末で131人の星のソムリエを認定してきた。

10年間の取り組みで、地域にも「星空を地域の魅力にしよう」という意識が根付いてきた。そのような現在の奥三河の星空の取り組みではあるが、最初は、個人がそれぞれで活動している状況から始まった。その後、複数の星空ガイド…はじめは、奥三河で活動する星のソムリエは1人…と協力して、活動を広げていった。

そこでポイントになったと思われるのは「営業」活動である。

- ・観光協会等に出向いて情報交換を行いながら取り組みへの「提案」を実施
- ・役場の商工観光課といった観光関係部署への挨拶回りをしながら「行政の感覚」を掴む活動
- ・観光案内所へ出向き「実態の把握」として需要調査(聞き取り調査)を実施

それまで、奥三河での星空の価値は、ほぼ『ゼロ』。住民(観光等の事業者も含む)にとっては空気のような存在である星空の価値に気づいてもらうことが初めに行くことだった。一方で、住民にも「星空」に関心がある人が少なからず存在し、さまざまな営業活動をすることで、そういった人たちと連携をいかに作っていくかも重要なポイントであった。

そういった視点で考えると「星空案内人養成講座」は最高のツールであった。そこで、最も大切

なのは「星空案内人」資格ではなくて（もちろん星空案内人資格は大事です！）、「星空を共有して学ぶ場の提供」であると言い切ることができる。

いずれにしても、はじめは一人で始まる星空案内の活動も、地域にいる「星空」に関心がある人といかに結びつきながら、一緒にやれる環境を作り、その環境を持続するための仕組みをどう作っていくかが、その活動を広げていく「鍵」だと考える。そして、繋がりが広がり、一緒に活動できるようになったら、「目標の一致と関係が持続できる努力」を怠らないことが大事だろう。

お願い(投稿募集)

皆様からの投稿をお願いします。近況報告や星空案内ネタ、短い随筆、俳句、短歌、写真、長くても構いません。報告書、研究結果などなんでも結構です。毎月月末発行ですので、その1週間前くらいまでにいただければ嬉しいです。

(編集担当；柴田)